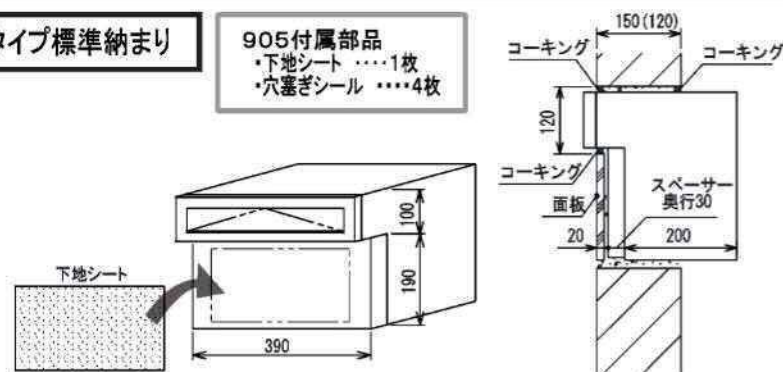


905 (口金一体型)

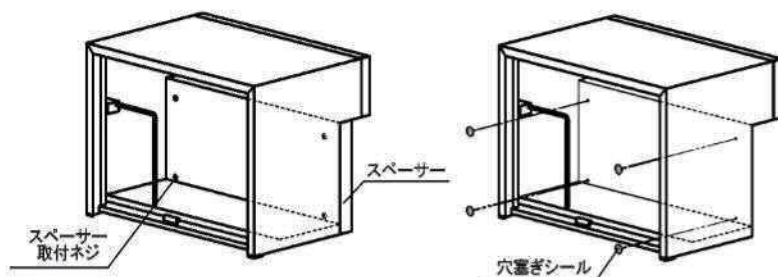
905タイプ標準納まり

905付属部品

- ・下地シート ……1枚
- ・穴塞ぎシール ……4枚



①ポストの寸法よりタテ・ヨコ共に20mm程度大きめ(H310×W410)の穴を開けて下さい。



- ②取付ける壁の面板の厚みに応じて、スペーサーが不要な場合は取外して下さい。
(ポスト内側からネジ4本で締め付けてあります)
- ③スペーサーを取外した場合は、ポスト内側より穴塞ぎシールを貼付けて下さい。
- ④ポスト前面に付属の下地シートを貼り付けて下さい。(モルタルが塗りつけ易くなります。)
- ⑤開口穴にポストを入れて周囲のすき間にモルタルを詰め固定して下さい。
- ⑥目地は必ずコーキングにて全周仕上げて下さい。

施工上の注意

- 施工に関しましては、専門の工事業者様へご依頼ください。
- 施工中に破損された商品の、お取換え等は出来ませんのでご了承ください。
- 取付工事には保護用手袋を着用して作業してください。
- 商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- ポスト上面へのブロック積みは3段までとしてください。
- 水平に施工してください。ポストの変形や故障の原因となります。
- ポスト底面部の水抜き穴をふさがないでください。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。
- 塗装仕様の口金には、直接養生テープを貼付けないで下さい。塗装剥がれの原因となります。

900 (口金) + B900H (内箱)

取付説明書

900タイプ標準納まり

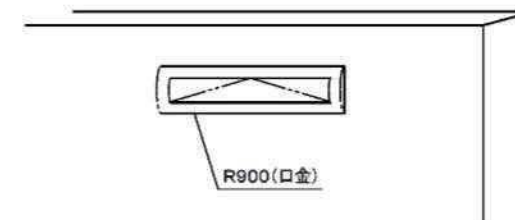
900(口金)付属部品

- ・長ネジM5×L285 ……2本
- ・六角ナットM5 ……2個
- ・ワッシャーM5 ……2枚

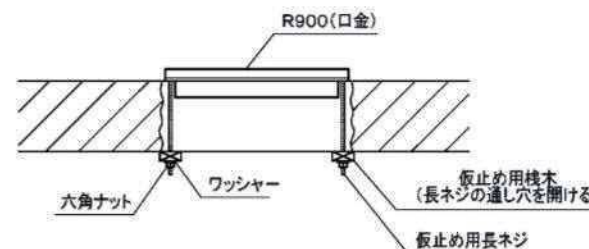
B900(内箱)付属部品

- ・アンカープラグ S6 ……4本
- ・小ネジ SUS+アトラス M4×L30 ……4本

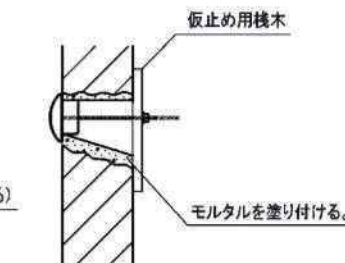
①躯体の所定の位置にヨコ380mm×タテ75mm以上の穴を開ける。



- ②仮止め用桟木を躯体に取り付ける。
- ③仮止め用長ネジを口金に取り付ける。

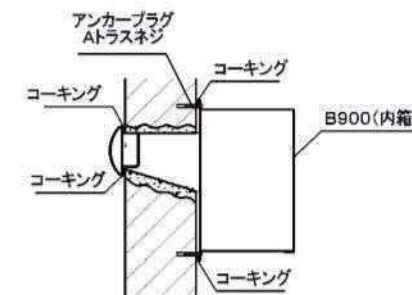
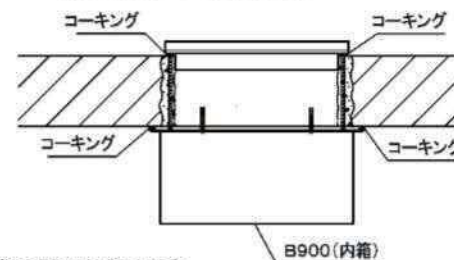


④ポスト口を取付け、モルタルを塗り付ける。



- ⑤モルタル硬化後、桟木を外しコーキングを塗る。
※仮止用長ねじの不要の部分はカットしてください。
※口金下部の水抜き穴はふさがないでください。

- ⑥B900H(内箱)を取り付ける。
- ⑦ポスト周囲にコーキングを塗る。



この度は ソニアレターボックス をご購入いただき、誠に有難うございます。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いいたします。説明書は大切に保管してください。

●使用上のご注意

- ポスト以外の用途でご使用にならないで下さい。
- ポスト本体、フロントパネル、取出口蓋の上にぶら下がったりしないで下さい。
- 投函口蓋、取出口蓋に手を挟まぬよう、ご注意ください。
- 製品の切断面は、安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので十分にご注意ください。
- 本製品は防雨型となっていますが、完全防水ではありません。激しい風雨の場合は、お早目に郵便物を取り出して下さい。
- 防犯上、施錠は必ず行ってください。
- 貴重品・重要書類・危険物、なま物等の保管をしないで下さい。(一般郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品の受取りや保管には適しておりません。鍵も入れないで下さい。)また、意図的な盗難やいたずらには対応できません。
- 火気を近づけないで下さい。火災、延焼又は故障の原因となります。

●下記のような条件下においてポストにさびが発生することがあります。

- 鉄粉などによる異種金属が付着するような立地条件(工場地帯や鉄粉が舞う工事現場など)
- 排ガス中の有毒物質が付着するような立地環境(工事地帯や交通量の多い市街地など)
- 塩分が付着するような立地環境(海岸地帯など)

●お手入れ方法

ステンレスは汚れを放置し、お手入れをおこたると、もらいサビを起こします。常に清浄に保つよう、定期的なお手入れが必要です。砂ほこり等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を布にしみ込ませてお拭き取り下さい。汚れが落ちたら、水で湿らせた布で洗剤をきれいに拭き取ってください。最後に乾いた布でから拭きしてください。

サビが発生した場合は、市販のサビ取り剤でサビ落としをし、水洗いしてください。

●お手入れ時のご注意

- 酸性、アルカリ性の薬品(塩酸・硝酸・タイル洗浄剤・苛性ソーダ等)及びシンナーの使用は、色落ち変色のおそれがありますのでお避けください。
- 金属タワシや砂入りの磨き粉の使用は、表面を荒らしてしまいますのでお避けください。
- ビニールテープやセロハンテープを貼り付けたまま長時間放置しますと、塗装の剥がれが生じることがあります。

●ご理解ください。

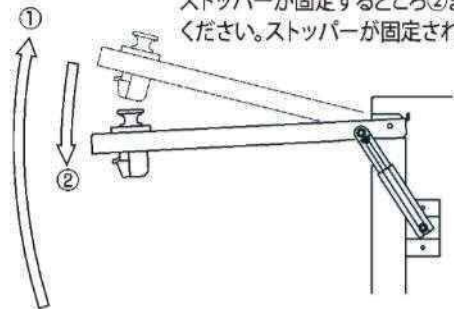
ポスト内側に発生しているキズは、工作機を使用し板金加工をする際に発生するもので、不良品ではございません。ご了承いただけます様、お願いいたします。

扉の取扱いについて

905・915 シリーズのみ対応しています。
※対応していない機種もございますので、ご注意ください。

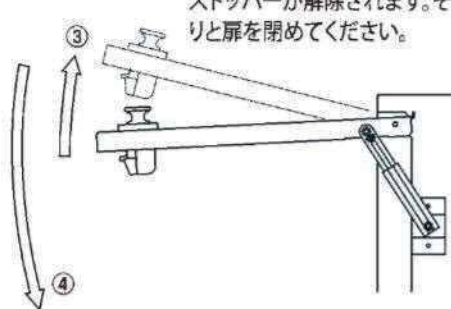
●開けるとき

扉を停止位置①まで、ゆっくり開けて
ストッパーが固定するところ②まで下げて
ください。ストッパーが固定されます。



●閉めるとき

扉を停止位置③まで、ゆっくり持ち上げると
ストッパーが解除されます。そのままゆっく
りと扉を開けてください。



使用上のご注意 ストッパーが固定されない場合もございます。扉の取扱いには充分にご注意をお願い致します。

●ダイヤル錠について

○解錠方法

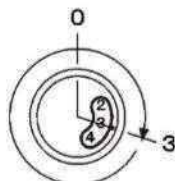
1



解錠番号 37 の場合

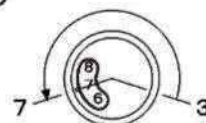
親番号 / 子番号

2



はじめにダイヤルを右へ2回転以上回して親番号3に合わせます

3



次にダイヤルを左に子番号7まで回すと解錠されます。つまみを引くと扉は開きます。

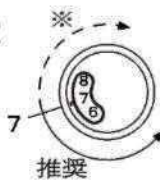
○施錠方法

1



子番号7のままの状態
扉を閉めてください。
子番号以外の番号で扉を閉めると鍵がかからない場合がありますので注意してください。

2



ダイヤルを左右どちらかに1回転以上回して施錠します。

※右へ1回転以上回して施錠しますと解錠する際、右1回転で親番号に合わせ左に小番号を合わせると解錠します。

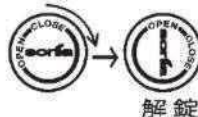
ダイヤル錠の解錠番号シールは本説明書に貼り、大切に保管して下さい。

解錠番号シールを貼して下さい。

●ラッチロック錠について

○解錠方法

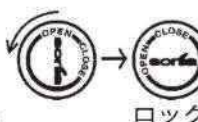
前面のつまみを右に回転させ、OPENが上
の状態ですぐ引くと扉が開きます。



解錠

○施錠方法

OPENの状態ですぐ扉を閉め、つまみを左へ
回転させると扉がロックされます。
郵便物を取り出した後は、常にロック状態
にしておいてください。
市販の南京錠をかけると本施錠できます。



ロック

■適応南京錠(別途)

市販されている20~30mmサイズのシャックル径
(丸棒)Φ3.5~Φ5.0の南京錠をご使用ください。
施錠可能な場合でも南京錠を無理にねじるとラ
ッチロックが破損する恐れがあります。



操作上のご注意

ラッチがおき上がった状態では扉は閉まりません。
無理に扉を開めると錠前が破損することがあります。

※ラッチがおき上がった状態になっている場合は、指でラッチ
を押し戻してください。動かない場合は、その状態で解錠
操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。



ラッチが
戻っている状態



ラッチが
おき上がった状態

●シリンダー錠について

○解錠方法

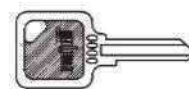
1. 子カギをつまんで扉を閉めます。
2. 子カギを左方向へ90° 回転させます。
3. 子カギを抜き取ります。

○施錠方法

1. 子カギを鍵穴に差し込みます。
2. 子カギを右方向へ90° 回転させます。
3. 子カギをつまんで扉を引き開けます。



子カギ



ご注意

鍵穴に異物を入れたり、油を注入しますと故障の原因となりますので、絶対におやめください。
鍵の抜き差しが悪くなった場合は、溶材を含まないシリコンやカーボン滑走剤「鍵穴用」をご使用ください。